


# 茨城町(いばらきまち)

	〒 311-3192 〈住所〉 東茨城郡茨城町大字小堤1080番地 〈TEL〉 029-292-1111 〈FAX〉 029-292-6748 〈HP〉 <a href="http://www.town.ibaraki.lg.jp/">http://www.town.ibaraki.lg.jp/</a> 〈e-mail〉 <a href="mailto:ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp">ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp</a>	地域指定 都市開発(一部区域)	一部事務組合加入事業 し尿 運動場 農業共済 退職手当 消防 賞しゅつ金 交通共済 消防災 害補償 非常勤公務災害 市町村会 館管理 滞納処分等 ごみ 処理 広域化 老人福祉センター	法人番号 5000020083020	公営企業 法適用(上水 工水) 法非適用(公共下水 農業集落排水)
	町章 類型 V-2 地方公共 団体コード 083020 面積 121.58 km <sup>2</sup>				

## <行政組織>

### ①長等(平成28年5月1日現在)

長	こばやし のりお 小林 宣夫 (68歳)	任期	平成31年4月26日
副町長	酒井 和二	就任回数	3 期目

### ②議会(平成28年5月1日現在)

議長	海老澤 忠	副議長	久保田 良一
任期	平成31年12月20日	条例定数	16 人
党派別	公明1人, 共産1人, 無所属14人	現議員数	16 人

### ③職員数(平成27年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
304	261	171	43
一般行政職の 平均給料月額	3,188 百円	ラスパイレ ス指数 97.9	地域手当 補正後 ラス指数 97.9
全職員数 の推移	平成24年4月1日 293	平成25年4月1日 298	平成26年4月1日 300

### ④機構図(平成28年4月1日現在)

【町長】 - 【副町長】 -

町長公室 一 秘書広聴課, 企画政策課, 町民協働課

総務部 一 総務課, 財政課, 税務課

保健福祉部 一 社会福祉課, 長寿福祉課, こども課, 保険課, 健康増進課

生活経済部 一 農業政策課, 商工観光課, 町民課, みどり環境課

都市建設部 一 道路建設課, 都市整備課, 下水道課, 水道課

【会計管理者】 - 会計課

【教育長】 -

教育部長 一 学校教育課, 生涯学習課, 学校給食共同調理場

【議会】 - 議会事務局

【農業委員会】 - 農業委員会事務局

【消防長】 -

消防次長 一 総務課, 予防課, 警防課

## <概要>

### ①沿革

昭和30年2月11日	合併
長岡村 上野合村 川根村 沼前村	
昭和33年3月5日	編入
石崎村	

### ②地勢・風土等

茨城県のほぼ中央に位置し, 自然的な景観に恵まれた都市近郊の田園都市。

平成27年5月には, 町のシンボルでもある涸沼が, 国際的な条約であるラムサール条約湿地に登録された。

また, 北関東自動車道及び東関東自動車道の開通によるインターチェンジ周辺の大規模な工業団地の整備, 医療・福祉の拠点となる“やさしさのまち「桜の郷」”整備事業の推進など, 環境と調和を図りながら都市基盤整備を進めている。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成28年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	17,413	17,364	17,018	16,124
	女	17,883	17,644	17,495	16,617
	合計	35,296	35,008	34,513	32,741
世帯数	9,930	10,514	11,187	11,353	

### ④有権者数(平成28年3月2日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 29.4 %
	13,645	14,081	27,726	

### ⑤高齢人口割合 (H28.1.1住基人口)

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成25年度)

市町村内総生産	986 億円	就業者1人当り	6,154 千円
住民所得	860 億円	人口1人当り	2,577 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成25年度)	就業人口(平成22年国調)
第1次	7,089 6.6 %	2,815 16.4 %
第2次	18,567 18.8 %	3,911 22.8 %
第3次	72,346 73.8 %	10,258 59.8 %
総額・総数	98,614 -	17,145 -

### ③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数 2,702	うち専業農家戸数 530	農業就業人口 3,273
製造業 (平成26年12月31日)	事業所数 53	従業者数 1,753	製造品出荷額等 (H26.1.1~12.31) 41,633
卸・小売業 (平成26年7月1日)	事業所数 276	従業者数 2,485	年間販売額 (H25.1.1~12.31) 255,929

### ④特産物

メロン, いちご, しじみ, にら
-------------------

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成25年度決算	平成26年度決算	増減率
歳入	12,162,962	11,580,792	△ 4.8
歳出	11,651,560	11,086,145	△ 4.9
形式収支	511,402	494,647	-
実質収支	395,136	429,015	-
単年度収支	△ 50,599	33,879	-
実質単年度収支	△ 50,004	△ 157,653	-

②主な歳入・歳出(平成26年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	11,581	-	△ 582	△ 4.8
地方税	3,585	31.0	29	0.8
地方交付税	2,672	23.1	△ 216	△ 7.5
国庫支出金	1,418	12.2	△ 666	△ 32.0
地方債	1,148	9.9	△ 87	△ 7.0
うち臨財債費	548	4.7	-	-
その他	2,758	23.8	-	-
うち繰入金	319	2.8	-	-
<b>歳出</b>	11,086	-	△ 566	△ 4.9
義務的経費	5,106	46.1	184	3.7
人件費	2,390	21.6	4	0.2
扶助費	1,757	15.8	108	6.5
公債費	959	8.7	72	8.1
投資的経費	1,925	17.4	-	-
普通建設事業費	1,918	17.3	△ 479	△ 20.0
うち補助	984	8.9	△ 427	△ 30.3
うち単独	933	8.4	△ 52	△ 5.3
その他の経費	4,055	36.5	-	-
うち繰出金	1,702	15.4	-	-

③主要指標(平成26年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (13.94)
連結実質赤字比率	- % (18.94)
実質公債費比率	9.0 % (25.0) [8.0]
将来負担比率	80.2 % (350.0) [37.5]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成27年度)	0.557	[0.699]
経常収支比率	84.8 %	[88.9]
標準財政規模(平成27年度)	7,543	百万円 [15,290]
地方債現在高(A)	9,603	百万円 [23,790]
債務負担行為支出予定額(B)	856	百万円 [2,834]
積立金現在高(C)	3,330	百万円 [7,849]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	7,129	百万円 [18,775]

※1 ( )は早期健全化基準、[ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成26年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	1,346,643 ( 35.5 )	1,280,671 ( 35.7 )	95.1 [92.6]
市町村民税・法人 (構成比)	262,833 ( 6.9 )	260,854 ( 7.3 )	99.2 [98.5]
固定資産税 (構成比)	1,782,844 ( 47.0 )	1,654,709 ( 46.2 )	92.8 [92.5]
市町村税合計 (国保除く)	3,794,857	3,585,324	94.5 [93.4]

<公共施設整備状況>(平成26年度) ※1は平成27年度

小学校 ※1	6 校	プール	1 か所
中学校 ※1	2 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	23 か所
保育所 ※1	3 か所	病院・一般診療所	17 か所
認定こども園 ※1	5 園	道路改良率	18.4 %
図書館	1 か所	道路舗装率	65.7 %
公営住宅	254 戸	上水道等普及率	89.5 %
公民館等	0 か所	污水处理普及率	62.7 %
体育館	1 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
酒沼ラムサール条約登録関係事業	H27 ~ H28	酒沼の保全・再生、賢明な利用、交流・学習を推進し、観光と地域振興を図るため、茨城町を含む3市町等で組織する「ラムサール条約登録湿地ひぬまの会」を本年1月に設立。本会において、酒沼の魅力を発信し、地域の活性化、観光振興、環境保全等を図る。	21
地域おこし協力隊	H28	5名の地域おこし協力隊員が、柔軟な発想と新たな視点による内外への情報発信や、地域事業への参画を行い、地域力の向上を図りつつ、定住に向け地域に密着した活動を積極的に行う。	21
集落支援員	H28	各集落の機能を維持し、活性化を図るために、地区ごとに集落支援員を配置し、各地区が直面している課題等を分析したうえで、それぞれの地域の特色を活かした取り組みを行う。	17
教育用コンピュータ関係事業	H28	町内の小中学校において、タブレット端末等を活用した新たな学びを推進する。	47

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p>&lt;主要課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少への対応</li> <li>・優良な企業の誘致活動の推進</li> <li>・充実した教育と教育施設の整備</li> <li>・生活習慣病の予防対策の強化</li> <li>・安全で快適な生活環境の整備</li> <li>・行政改革及び地方分権の確立・推進</li> </ul>
<p>&lt;特色ある行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒沼ラムサール条約湿地登録に関する事業の推進</li> <li>・ふるさと元気づくり推進事業の推進</li> <li>・WCS事業の推進</li> <li>・集落営農組織及び認定農業者の支援</li> </ul>